

Beyond 5G/6G など将来のデジタル社会を支える基盤の実現には、通信技術の更なる発展が求められています。そのためには従来の枠組みに囚われずに新たなアイデアを創出し、革新的な技術に挑戦して将来の技術の進歩に寄与する若手研究者・技術者を育てることが重要です。そこで和文論文誌 B では、学位取得やステップアップを目指す学生・若手研究者の論文執筆の契機とするために、これまで学生・若手論文特集を企画してきました。また、最新の研究内容を国内の幅広い読者層にわかりやすくかつ迅速に情報発信するためのレター特集を企画し、多くの投稿を頂いています。

今回は、主に 2022 年ソサイエティ大会での発表内容を中心とするレター特集を企画しました。本特集は、和文論文誌 B が扱う全技術分野を対象とします。また、投稿種別をレターに限定することで、最新の研究成果の迅速な情報発信の一助となることを目指します。発行は 2023 年 7 月を予定しており、下記のスケジュールにしたがって迅速に判定結果を通知します。

本特集では、2022 年ソサイエティ大会で発表された研究だけでなく、同大会で発表されていない研究に関する投稿も歓迎します。優れた研究成果があるにもかかわらず、投稿経験が無い方あるいは少ない方には、この機会を利用した研究成果の御発表を期待します。また、本特集へ掲載される優れたレターに対して表彰を行う予定です。多くの皆様からの積極的な御投稿をお待ちしています。

1. 対象分野：（和文誌 B が対象とする全技術分野）

【技術領域：基盤】

基礎理論，電子通信エネルギー，伝送方式・機器

【技術領域：光】

光ファイバ，光ファイバ伝送

【技術領域：ネットワーク】

ネットワークシステム，ネットワーク，インターネット，
ネットワーク管理・オペレーション

【技術領域：無線】

アンテナ・伝搬，電磁環境・EMC，無線通信技術，
地上無線通信，放送技術，衛星通信

【技術領域：無線システム】

計測，探査，航行・誘導・制御方式，宇宙利用システム

【技術領域：マルチメディアシステム】

マルチメディアシステム

2. 論文の執筆と取扱い

論文の執筆，査読の取り扱いは一般論文と同一とします。詳細は，投稿のしおりを御参照下さい。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html

ただし，本特集の趣旨に鑑み，投稿はレターに限り，原則として刷り上がりは 2 ページを標準とします。

特集発行のスケジュールにより，査読後の再提出期間は通常より短い場合があることをあらかじめ御了承下さい。

著者全員が非会員でも投稿が可能になりました。

ただし，非会員掲載料が適用されます。

3. 主なスケジュール

投稿締切：2022 年 10 月 2 日（日） 厳守

第 1 回判定通知：2022 年 11 月中旬を予定

最終判定通知：2023 年 2 月上旬を予定

掲載料支払期限：2022 年 3 月 24 日

発行月：2023 年 7 月号

（本特集のレター論文は，最終判定が採録の場合，上記判定通知時期を待たず確定次第通知する予定です。また，採録決定後，掲載料をお支払い頂くと直ちに早期公開されます。詳細は，投稿のしおりを御参照下さい。）

4. 投稿方法

投稿は原則電子投稿とします。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx

にアクセスし，投稿原稿に関するデータの登録と，投稿原稿 PDF ファイル（4MB まで）並びに編集用電子ファイル（1 ファイルにつき 10MB まで）をアップロードし，Copyright Transfer and Page Charge Agreement の手続きをして下さい。なお，電子投稿が困難な場合は，学会事務局＜wabun-b@ieice.org＞に御連絡下さい。

5. 特集編集委員会

委員長 小川猛志（東京電機大）

幹事 鈴木一哉（秋田県立大），大津山卓哉（海上・港湾・航空技術研究所）

委員 通信ソサイエティ和文論文誌編集委員

6. 連絡先

鈴木一哉（秋田県立大学）

TEL〔0184〕27-2171

E-mail：kazuya-suzuki@akita-pu.ac.jp